

令和3年度 北海道シニアサッカー連盟 第2回常任理事会 議事録

1. 日 時：2021年11月13日（土）15:30～17:30

2. 会 場：公益財団法人北海道サッカー協会 3F 会議室（豊平区水車町5丁目5-41）

3. 出席者 20名

【会場出席】松本・工藤・三浦副会長、佐藤理事長、伊東・二川・小坂副理事長、小田中・小笠原・松本真・松本健・水落・吉田・飯田常任理事、山浦理事(オブザーバー)の15名

【web出席】小林・眞木・亀山常任理事、神谷・紺野理事(オブザーバー)の5名

【欠席】西川会長、佐藤晃常任理事

4. 会長挨拶（要旨） 松本副会長より

・西川会長欠席により、松本副会長よりご挨拶、コロナ明け60リーグも週2回開催して忙しかった。今後もコロナに十分気を付けて進めていきましょう。

5. 議題

5.1 報告事項

5.1.1 2021年度第1回常任理事会議事録(2021年5月29日実施)・・・佐藤英理事長
・資料のとおり。

5.1.2 2021年度JFAシニア種登録及びシニアサッカー連盟登録状況・・・佐藤英理事長
・P6のピンクの網掛けが連盟未登録なので、継続して各地区サッカー協会に登録を呼びかけて頂くようお願いしている。

5.1.3 2021年度年間事業計画・・・佐藤英理事長
・資料の通り

5.1.4 2021年度シニア種大会結果一覧・・・佐藤英理事長
・資料の通り、グレーの網掛けの全道及び全国大会はコロナの影響では中止になった。

5.1.5 2021年度シニア連盟主管事業報告・・・佐藤英理事長

(1) 5/3(月祝)～4(火祝) 全道シニア8人制サッカー大会(東雁来公園)・・・コロナで中止

(2) 6/12(土)～13(日) シニア8ツアー(中標津)・・・コロナで中止

(3) 7/23(金祝)～25(月)全道シニア40大会(空知地区夕張)、運営：シニア連盟(道央地区)

(4) 7/24(土)・25(日)全道シニア70大会(空知地区夕張) 運営：シニア連盟(道央地区)

(5) 8/28(土)・29(日)北海道シニアオープン大会(空知地区夕張栗山)・・・コロナで中止

(6) 9/18(土)～20(月祝)全道シニア60大会(十勝地区)

(7) 9/18(土)～20(月祝)全道シニア50大会(苫小牧地区)

(8) 金田喜稔の“大人のサッカークリニック”

・資料の通り、活動の経緯を説明。サッカーファミリーの増加のためには、一度サッカーから離れているシニア年代の掘り起こしが重量。

・9月の旭川地区のみ、緊急事態宣言で会場使用不可となり中止になったが、8月に札幌で2回、10月に帯広で2回、11月に苫小牧で1回の合計5回実施した。

・今後も事業化を継続していくためには、一般参加者を増やすための周知方法が課題。HKFAのホームページ、新聞、SNS等、様々な方法による周知など。

(9) 女子委員会(エイトリーグ)への協力・・・・・・・・・・【資料なし】伊東副理事長
5/29SSAP 人工芝(川島・萩野・伊東)、6/20SSAP 屋内(伊東ほか)：コロナで中止、
7/17SSAP 屋内(川島・萩野・伊東)：実施

5.1.6 2021 年度各地区活動報告

(1) 第 16 回道央シニア 6570&L サッカーリーグ (水曜)、第 6 回北海道 60 スーパーリーグ (土日)
70 はコロナの影響で 1 チーム 10 試合程度のリーグ戦、全道大会も 3 試合。70 代の皆さんは、まだ
まだいけるぞ！と楽しんで参加していました。大きなケガもなかった。(水落常任理事)

60 も 5・6 月は開催できなかったが、ワクチン接種したので開催後は参加者が増えた。会場も厚別
競技場、白幡山もとれて、たくさん試合することができた。(松本副会長)

今後は、土曜・日曜にこだわらず、平日開催に移行していくように働きかけていく。(松本副会長)

四十雀の選手が心筋梗塞で搬送された。(工藤副会長)

(2) 道央地区・・・・・・・・・・・・・・・・小坂副理事

緊急宣言の解除後、6/27 より開幕した。ただ、緊急事態が解除されても、職場の都合で人数が揃
わないチームがかなりあって、50 の 1 部ではその影響で昨年 3 位 4 位のチームが 2 部に降格するこ
とになった。また、緊急宣言解除後の開催になったため、日程を変更し、予選リーグ、順位リーグに
分けて開催した。

40 はドーコン 40、ZIZI40 が 2 部へ、AFC、小樽 40 が 1 部昇格する結果となった。

40 は 1 部が 10 チーム、2 部が 12 チームということで、1 チームでも増えることがあれば、
3 部制にするのか、もしくは 2 部制でどういう組み合わせにするのか検討する必要がある。

(3) 道北地区・・・・・・・・・・・・・・・・松本健常任理事

・コロナによる中断期間を挟み、期間短縮になったが、総当たり 1 回で無事実施できた。今回難し
かったのは、都市間でコロナの発生率が違うことで、他都市から受け入れる、受け入れない、が各自
自治体の判断が違った。旭川・東川・士別があるが、士別の教育委員会は柔軟に受け入れて頂いた等、
自治体によって温度差があった。全くコロナが発生してない地域には、受け入れたくないと意思表示
していた地域もあった。

(4) 道南地区・・・・・・・・・・・・・・・・小笠原常任理事

・道南でも自治体によってはコロナの影響で受け入れられない地域もあったので、会場確保が大変
だった。また、道南地区は、函館から苫小牧まで長距離にわたるので、依然として都市間移動が課題
である。今後、日高方面(静内あたり)が入ってくるとますます大変になるかもしれない。

(5) 道東地区・・・・・・・・・・・・・・・・松本真常任理事

・道東地区(十勝、釧路、根室、オホーツク)開催実施できた。

JFL に入れ替え戦に挑戦しているチームあり。

(6) フットサル(活動予定)・・・・・・・・・・【資料なし】

・土日と水曜に分けて実施。水曜は 65 以上にした。平日に開催するように働きかけている。女子
40 代についても参加し、楽しく活動している。(松本副会長)

・女子 50 代の活動機会がないので、65 以上のチームに参加したら楽しく参加できたといっていた。
(工藤副会長)

・チオスリーグは 12 月 26 日開幕の方向で開催予定している。40 は 15 チーム、50 は 12 チームの予
定で、昨年より 11 チーム多くなる。今年も昨シーズン同様にフルピッチコートを用意しており、コロ

ナ対策で選手は密になることを避けて、完全入れ替えとする。第6派が今後どうなるかわからないが、十分に対策して開催する。(小林常任理事)

- ・道北は1~3月に愛別で実施予定だが、コロナ次第。(松本健常任理事)

- ・道南は、フットサルは実施していない。各自・各チームで体力づくりを実施。室蘭では交流リーグなど体力づくりをやっているらしい。(小笠原常任理事)

- ・道東地区もフットサルは実施していない。各地域広いので正直把握できていない。(松本真常任理事)

5.1.7 2021 年度全国大会報告 佐藤英理事長

(1) JFA O-70 オープン大会 (10/2-4 秋田県にかほ市) コロナで中止【資料なし】

(2) JFA O-60 サッカー大会 (10/2-4 秋田県にかほ市) コロナで中止【資料なし】

(3) JFA O-40 サッカー大会 (11/6-8 静岡県藤枝市) 二川副理事長

オッサンドーレが参加。初戦に負けた(戦い方がまずくて、勝てる試合を落とした)。2戦目のTONANは完敗(ボールを回されて、本当に強い相手だった)。3戦目の出雲には、なぜか3-0で勝った。(TOMANに引きたチーム?)。優勝は船橋。

5.1.8 JFA O-50 サッカー大会 (11/19-21 栃木県宇都宮市) 佐藤英理事長

非常に厳しいやまに入った。助っ人としてオッサンドーレから2名入れて頑張ります!

(1) 2021 ねんりんピック (10/30-11/3 岐阜県) コロナで中止【資料なし】

(2) 2021 ライフスポーツ (11/20-11/22 広島県) コロナで中止【資料なし】

5.1.9 JFA シニア大会部会(2021年11月11日実施) 二川副理事長

- ・資料の通り。

- ・藤枝市がJFAに協賛していて、サッカーの街づくりを行っているので、毎年どこかのカテゴリで全国を開催している。(佐藤英理事長)

- ・全国大会出場枠のうち、各地区登録チーム数による枠について、北海道は登録チーム数を増やす方策としてカテゴリ別にJFA登録しているが、他府県ではカテゴリ別の登録をしていない地区がある。このため、登録チーム数枠については、カテゴリ別ではなく、全登録チーム数に対するドント方式で設定している。

- ・シニアサッカー人口増加のため、①JFAシニアアンバサダーに金田さん就任、②大人のサッカークリニック、③高校サッカー部OBOGを集めた大会、などにより普及に力を入れている。

- ・全国大会の北海道開催は、今の所、予定はない。

5.2 協議事項

5.2.1 2021 年度 HKFA シニア委員会報告(2021年11月13日実施)

(1) 全道シニア 40・50・60 サッカー大会普及枠について 二川副理事長

資料の通り

女子の普及が進んでないので、現状は60がその受け皿になってやっている。(松本副会長)

全道に繋がる大会だと、一緒にいれてよいか問題になる可能性がある。(小田中常任理事)

北海道での先駆的な活動をアピールしてほしい。(松本副会長)

(2) 各事業の開催要項について 二川副理事長

資料の通り

60・70の全国大会が愛媛になっているのは間違いなので、未定に訂正。

(3) 主管大会の地区希望調査について・・・・・・・・・・二川副理事長

資料の通り

北海道シニア8サッカーツアーは、小さな市町村でも旅行しながらサッカーできるようにすることを目的に始めた事業なので、今後は連盟事業でやったらどうか。(松本副会長)

(4) 2021年度全道シニアフットサルオープン大会(3/5(土)~3/6(日)滝川市)開催要項(案)

開催要項について、登録は20名だが1チームのベンチ入り人数が12名になっており、当日ベンチ入りできないメンバーが生じる。全国大会につながるオープン大会なので、北海道フットサル連盟に、登録者全員がベンチ入りできるようにできないか確認してほしい。(佐藤理事長)

小田中常任理事から道シニアフットサル連盟常任理事会で確認する。

5.2.2 次年度の全道6070大会要項の改正について【提案】・・・・・・・・・・松本副会長

・道央リーグでは女子を入れてやっているが、それで全道大会に行けるのはおかしいという話があり、60全道大会で40歳以上の女子参加を認めてもらえないか、確認して頂きたい。

・40代以上の女子サッカーの普及がぜんぜん進んでないので、60道央リーグと一緒にやっている女子の活動について、道協会の女子委員会にも確認して協議して頂きたい。

・70大会には50歳以上の女子を入れてたいと考えている。

5.2.3 シニア連盟20周年記念事業(20周年記念誌チーム紹介集約状況ほか)

・本来なら本日開催でしたが、デリケートな時期なので、式典・祝賀会の中止を決めた。(工藤副会長)

・80歳近くの選手への表彰及び記念品贈呈については実施するので、実行委員会で継続協議。

・20周年記念誌の各チームの紹介原稿は、数チームを残し出揃いつつあり、近日中にはなんとかなる見込み。チーム紹介原稿はHPにも公開予定。

・HPを見た人からシニアサッカーチーム紹介依頼は年々増えつつあるので、チーム選定の材料になることを期待したい。(小田中常任理事)

・実行委員会を開催し、今後の作業予定等を協議する。メンバーは変更なし。

5.2.4 2021年度決算見込み及び次年度予算案・・・・・・・・・・伊東事務局長

・資料の通り、収支予算のほぼ通りになる見込みで、コロナ明けなので、昨年同様でよいと考えている。

・今年度も開催できなかった大会もあるので、次年度も連盟登録料は、マイナス5000円の2万円で調整する。(佐藤理事長)

・70のJFA登録について、今年度は全額連盟負担だが、次年度の連盟負担は半額となる。(佐藤理事長)

・全道大会の大会経緯費について、今年は各全道大会決算時にシニア連盟の負担金がかかるようにしているので、道協会から頂いているお金では足りてないことを予算提出時にアピールしてほしい。(佐藤理事長)

・女子でも予算足りない場合は、どこもお金だしてもらえず、基本は予算通りに上げる方針らしい。女子はシニアと違い動く人間が決まっています予算も組みやすいとのこと。(二川副理事長)

5.2.5 2022年度事業計画案・・・・・・・・・・佐藤理事長

資料の通り

5.2.6 役員改選について・・・・・・・・・・佐藤理事長

・選考委員会の委員として、西川会長、工藤副会長、佐藤理事長、伊東・二川・小坂副理事長を選定した。必要に応じて、増員も検討する。

- ・次回常任理事会までに、会長・副会長・理事長の選考委員会案を作成する。

5.3 その他

- ・ J F A より、松本副会長が日本サッカー協会 100 周年感謝表彰を受賞しました！
- ・ 次回の常任理事会は 2 月 26 日（土）仮決め。理事総会は年度明け 4 月 16 日（土）仮決め。
- ・ 勉強会は、コロナで何もできてないので、女子との連携の件もあるので、佐藤理事長から何かしら発信する。
- ・ 旭川市内で 4 種の保護者を中心に、オーリーグとうフットサルリーグの大会がありまして、J F A 登録など一切ないので、未経験者から経験者からいろいろな方が参加できるローカル大会になっている。そこから、シニアサッカーを始める人も増えている。（松本健常任理事）
- ・ 十勝のエンジョイリーグは、シニア 40 のチームの中で実力差がついてしまったので、下位チームだけで交流戦を行う大会を始めた。そうしたら、どんどん人が増えていった。（松本真常任理事）
- ・ 高校 OBOG 大会
- ・ コロナに関する今後の見通しについて、今は落ち着いている状況でどんどんサッカーできる環境になっているが、ワクチン接種が一番の要因だと思う。ただ、世界各地でまた少し流行りだしているのは、一番最初にワクチン接種した医療従事者の抗体が下がっている免疫が弱くなっている。高齢者の方も抗体が弱くなって、3 回目を打つ直前が一番危ないといわれているが、今が一番楽しく出来る時期なので、たくさん体を動かして頂きたい。（神谷理事【医事】）

・最後の締めのお言葉

私から佐藤理事長に交代して、直後にコロナになり 2 年間予期せぬ事態が乱発する中で、やってこれたのは、シニアサッカー連盟の人材、経験、機動力が備わっていることが一番大きいと思いますし、現状メンバーも素晴らし方が集まっていますので、二川シニア委員長と共に負担も大きいですが、皆さんで協力しながらこれからも頑張っていきましょう！（三浦副会長）

以上。